

2005 年日本国際博覧会（愛知万博）
基本計画



EXPO
2005 AICHI

2001. 12

財団法人 2005 年日本国際博覧会協会

21世紀の人類は、地球環境問題、人口問題、食糧問題、エネルギー問題など、生存の根幹にかかわる、様々な問題を抱えている。

2005年日本国際博覧会（愛知万博）は、こうした問題に対する人類の回答の方向性を、自然の叡智に学び、その叡智のさまざまな引き出し方、すなわち文化を世界中から持ち寄ることにより、見いだそうという挑戦的な試みである。そして、その試みは、世界平和の実現と維持にも寄与するに違いない。

愛知万博の実現には、世界中の様々な国家、機関、企業、NPO/NGO、市民などの参加と協力が不可欠である。そして、こうした参加と協力を生み出すメカニズムは、魅力の多様さにおいても、参加者の多様さにおいても、国際的な広がりにおいても、他に類を見ない国際的な文化事業である。

この基本計画は、そうした多様な参加と協力を得てこの国際博覧会を開催し、21世紀の人類が一定の指針を見いだすために必要な事業の要素と方針を総合計画として示したものである。この基本計画に基づき、世界中からの参加の促進、様々な事業の実施計画の策定、会場の設計・建設などの具体的な努力が進められていくことになる。

この基本計画に基づき、世界中、日本中の人々が集い、友となり合い、生きる楽しさと知恵を味わって、人類の未来に貢献する博覧会を作り上げたいというのが、開催者としての切なる願いである。